

東久留米市立大門中学校 第1学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	自分の考えを読み手に伝わるように具体的に書くことが苦手である。	課題に沿って自分の考えを書かせる学習活動を行い、文章を書く力の定着を図る。	・授業のまとめとして読書感想文・レポートなどの課題に取り組みせ、観点別評価を行う。C評価の人数を学年で1桁にする。
社会	社会、特に歴史が苦手な生徒が多いことが授業前のアンケートで分かった。	ICT機器（モニター・実物投影機・DVD）などの視覚による教材を使用することで、分かりやすく、興味を引くような授業実践を行う。	・学年末にアンケートを再び実施して苦手意識のある生徒を5%以上減らす。
数学	正負の数の計算を間違える生徒がある程度いる。	ICT機器や図を利用し、視覚的に考えられるようにする。	・毎回の定期試験に、正負の数の四則を出題して、60%の正答率を目標にする。
理科	積極的な発言が多いが、発問の意図を理解できていない生徒が見られる。また、道筋を立てられない生徒がいる。	論理的に考察ができるよう、ペアやグループでの話し合いを通して、考え方を身に付けさせる。	・実験レポートに考察欄を設けて、C評価の生徒を10%未満にする。
	前向きに授業に取り組んでいるが、内容の理解が不十分な生徒がいる。	前時の授業内容の小テストを行い、内容の理解度を把握する。	・学習のまとめりごとに小テストを行い、B評価の生徒を80%以上にする。
音楽	全生徒がワークシートの記述などに丁寧に取り組む。歌声はマスクの影響もあるがとても小さい。発言はいつも決まった生徒しか発言しない。	鑑賞の感想やワークシートの記述などを互いに読み聞かせることで、自分の感じたことを抵抗なく発表できるようにさせる。	・感想文の評価が80%以上の生徒が、到達点のB以上になるよう指導する。
美術	見る力、感じる力、それを表現する力を更に伸ばす必要がある。	デッサンを通して見る目を養わせ、平面構成を通して調和を学ばせ、コラージュ画で素材を使う事を理解させる。	・作品を提出させる。主体的に学習に取り組む態度の評価が以前より上がる生徒を5%以上増やす。
保健体育	(男子) 生徒のほとんどが強い意欲をもち、集中力が高いため、技術の取得が著しく楽しく運動を行っている。	3年間の習熟を目指して、授業の進め方や進度をレクチャーし、グループでの活動を多く取り入れ、主体的・対話的で深い学びを推進していく。	・集団行動をきちんと習得させて、個人の能力を増幅させ、A評価の生徒が全体の40%以上になるようにする。
	(女子) 運動経験の多い少ないがあるが、授業に前向きに取り組むことができる。数多くの運動体験を目指し、運動技能を高める。	習熟度別に運動する内容を分け、個別指導を取り入れながら補強運動後に各単元特有の運動を取り入れ、様々な体の動かし方を習得させる。	・入学当初と比較して、運動が身に付いた成果が出て、運動ができる実感を学年末までに、全体の60%以上の生徒が感じるようにする。
技術	生活体験の少ない生徒が多く、工具や機械の正しい使用方法が理解できていない。	演示やイラスト・動画などを多く取り入れ、正しいやり方をトレースさせたりするなど、ていねいに指導する。そのためのICT機器（タブレット端末など）の効果的な活用を進める。	・主体的に学ぶ内容に重点を置き、ワークシートによる点検で、B評価の生徒が60%以上になるようにする。

東久留米市立大門中学校 第1学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
家庭	生徒は住居の間取りについて、自分自身の快適な暮らしの観点から考える機会がほとんどない。	家族生活の空間・個人生活の空間を考慮した上で、オンライン教材を利用し、理想的な住まいの在り方を考え実践に向ける。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ内容に重点を置き、平面計画を立てる内容で、B評価の生徒が60%以上になることを目指す。
外国語	多くの生徒が意欲的に学習に取り組んでいる。「書くこと」に関して、課題がある生徒が多い。	授業内で英語を書く課題を提示し、書くことに慣れさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとにまとめの単語テストを行い、全員が達成率80%以上になるようにする。
科特別 道の徳教	深い理解まで到達できず、ありきたりのことをワークシートに書いて終わらせてしまう生徒がいる。	他人事にせず、主体的に自分の考えを深められるような授業の展開を工夫する。特に、導入で生徒の興味・関心をひくことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の見聞を聞き、自分の考えを深めることができたか。（授業観察、ワークシートからの見取り）
習総合 の時間学	ドリームマップの作業などで、主体的に進められない生徒がいる。	作業内容をあらかじめ順序だてて説明し、個別に声掛けをするなど、個々の差を埋めるような指導を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> 川越校外学習や職業調べにおいて、全員がそれぞれのテーマについて調べ学習を行い、個人新聞の形で作成し、発表・掲示する。